

平成 22 年度食育推進事業実施状況

◆◆◆ 項 目 ◆◆◆

- 1 保育所食育推進事業
- 2 学校食育推進事業
- 3 保健事業における食育推進
- 4 地産地消推進事業
- 5 食育普及啓発事業
- 6 関係団体と連携した食育推進事業

1 保育所食育推進事業

1 幼児肥満等発育調査

- (1) 目 的 幼児期の健やかな成長のため、肥満、やせ等の調査を実施し、栄養状態等の把握をする。
- (2) 実施日 平成 22 年 6 月
- (3) 調査対象 市内保育所・私立保育園に通う 3 歳～5 歳児の 2,047 人
- (4) 調査結果 肥満度+15%以上の児童が全体の 5.9%で、平成 21 年度と比較すると 0.5%増加した。

2 キッズ健康（肥満予防）教室

- (1) 目 的 幼児期の肥満が学童期の高度肥満に移行しやすく、早期対応が必要なため実施する。
- (2) 実施日 1 回目：平成 22 年 10 月 9 日（土）
2 回目：平成 22 年 11 月 6 日（土）
- (3) 会 場 栄保健センター
- (4) 内 容

【1 回目】

- ア 医師講話 「幼児期の肥満予防について」
講師 厚生連村上総合病院 小児科医師 勝山幸一様
- イ 運動実習 「親子で遊ぼう」
講師 運動指導員 皆川香織様
- ウ 食育講話 「おやつとエネルギー」
三条市健康づくり課食育推進室 管理栄養士

【2回目】

ア 食育講話 「幼児期の食事」

イ 調理実習 「バランスのよい食事」

講師 地域活動栄養士 中村スミイ様

(5) 参加者数 54人

(6) 参加者の感想

- ・今まで以上に食事の大切さや肥満の怖さがよくわかり、気をつけようという気持ちになった。
- ・調理実習が楽しかった。このような教室があったら、また参加したい。
- ・とても有意義だった。仕事が遅く、時間がとりにくいが、バランスのよい食事を心がけたい。

3 食育講座

(1) 目的 児童が野菜作りや調理体験を通して、食事や食品に関心をもち、楽しみながら実践できる子どもに育てる。また、家庭への食育を推進する。

(2) 内容 5歳児が種まきや苗を植え、栽培・観察し、収穫したものを親子で調理し会食する。また、保護者に食育講話を行う。

ア 栄養士講話 「楽しく食べる子どもに」

イ 調理実習

「菜入りふりかけ」や季節に応じた手作りおやつを紹介。保護者から補助してもらいながら、カレーなどの身近な献立で、材料の皮ひきや切る体験をする。

平成22年度 保育所食講座実施状況(実績)

	施設名	保護者食育講座		
		実施日 (予定)	参加者	
			児童	保護者
市立	田島保育所	9月14日	18	17
	裏館保育所	7月2日	11	11
	旭保育所	10月26日	15	15
	保内保育所	8月5日	21	21
	一ノ門保育所	10月28日	17	17
	嵐南保育所	1月18日	13	12
	鱒田保育所	7月8日	33	30
	須頃保育所	11月9日	15	15
	月岡保育所	8月3日	25	25
	塚野目保育所	10月19日	21	21
	大島児童館	10月27日	15	15
	福多保育所	7月13日	27	26
	大和保育所	6月8日	12	11
	川通保育所	7月15日	23	22
	飯田保育所	7月28日	19	19
	荒沢保育所	12月9日	12	12
	名下保育所	9月3日	10	9
	中浦保育所	7月23日	8	8
	千代が丘保育所	8月4日	38	38
私立	本成寺保育園	6月26日	23	21
	北陽保育園	11月20日	19	17
	つくし保育園	2月14, 15日		
	ふじの木保育園	7月9日	35	34
	第二つくし保育園	6月17日	23	20
	きらきら保育園	8月7日	35	35
	ひまわり保育園	7月27日	28	28
	にじいろ保育園	6月22日	26	24
	どれみ保育園	9月17日	21	21
	おぎぼり保育園	9月7日	18	16
	なでしこ青空保育園	11月5日	9	9
	あいあい保育園	10月22日	32	32
合計			622	601
			保護者参加割合 96.6%	

4 指導者食育研修会

- (1) 目的 保育所における食育を推進するため、専門家による講話や実技指導を行う。
(2) 実施日 平成 22 年 5 月 11 日 (火)
(3) 対象 保育士
(4) 参加者 34 人
(5) 内容

- ア 実技指導 実際に畑で畝の作り方や苗の植え方を体験する。
さつまいもの苗植え及びプランターでの夏野菜の苗植え
イ 講話 「畑やプランターを利用した野菜づくり ～春の苗植え～」
講師 三条地域振興局農業振興部普及課 遠藤 厚志普及指導員

(6) 参加者の感想

- ・植える時のポイントを教えてもらい、とてもわかりやすかった。
- ・野菜を育てたいという気持ちが強くなった。
- ・今年も参加したことで、昨年いろいろ実践して出てきた疑問が解決できてよかった。

5 保育所巡回指導

- (1) 目的 子どもたちが食べ物と体の関係に関心を持ち、自らすすんでバランスのよい食事ができるよう、食に関する知識の基礎づくりを目指す。また、保育士の食に対する意識を高め、継続した食指導を実施する。
(2) 巡回内容 市の管理栄養士が、市内の保育所等 31 施設を約月 1 回の頻度で訪問し、児童の給食状況を把握するとともに、食指導を実施する。

ア 指導目標

- (ア) いろいろな食品を知り、食に興味・関心を持つ。
(イ) 4つのグループの料理それぞれの役割を知り、偏食しないことの大切さに気づく。
(ウ) 主食・主菜・副菜・お汁を知り、お膳のかたちに配膳できる。

イ 指導媒体

- (ア) 保育所給食(巡回指導日の給食献立)、旬の食材
(イ) そのまんま料理カード、ランチョンマット(三条市作成)

(3) 実績(平成 23 年 1 月末現在)

ア 巡回状況

	回数(回)	延人数(人)
3 歳児	46 回	669 人
4 歳児	95 回	1,576 人
5 歳児	91 回	1,579 人
未満児	32 回	393 人

※ その他として所(園)長や保育士、調理士等との情報交換、保護者への栄養相談等

2 学校食育推進事業

1 目的

子どもたちが生涯を健康に暮らせるための食習慣を確立させるため、学校教育において食を中心とした健康教育を効果的に実施する。

2 小中学生血液検査結果（資料No.3）

3 学校における食育

(1) 個別指導

- ア 内 容 身体計測、血液検査結果に基づく個別の保健・栄養指導を実施
- イ 対 象 身体計測、血液検査結果が、要指導及び要受診の児童・生徒及びその保護者
- ウ 実施状況（1月末現在）
- 小学校 24 校（児童 183 人、保護者 290 人）
 - 中学校 9 校（生徒 200 人、保護者 339 人）
- エ 気 付 き
- ・これからは体のことを考えて食べるようにしたい。（児童）
 - ・今必要な食事量が具体的にわかって良かった。（生徒）
 - ・子どもと一緒に参加し、これからは家族で食事を改善しようと思った。（母）
 - ・家族の健康を考えると、私の食事作りにかかっていると感じた。（母）

(2) 食育講演会・講話

- ア 内 容 専門家による食生活についての講話。小学校は市の管理栄養士による講話。中学校は県立大学 宮西邦夫教授による講演。
- イ 対 象 小学5年生とその保護者、中学1年生とその保護者（対象学年外も可）
- ウ 実施状況（1月末現在）
- 小学校 23 校（児童 965 人、保護者 257 人）
 - 中学校 9 校（生徒 942 人、保護者 76 人）
- ※今後実施予定 小学校 1 校
- エ 気 付 き
- ・自分の体が食べ物でできていることを初めて知った。（児童）
 - ・朝ごはんは、お膳のかたちでバランスの良い食事をしようと思った。（児童）
 - ・苦手な食べ物があっても、残さず食べるように心がける。（児童）
 - ・食事内容と成績や運動能力に関係があることに驚いた。特に、朝食は主食・主菜・副菜をそろえるようにしたい。（生徒）
 - ・今まで朝食を食べなかったけど、これからは食べるようにする。（生徒）
 - ・食事はすべての原点であることを改めて実感。母として責任の大きさを痛感した。（母）
 - ・食べ物を粗末にしないことは当たり前。しかし、我が家を振返るとそれができていないと思った。子どもと一緒に気をつけたい。（母）

(3) 食育授業

ア 内 容 栄養教諭・学校栄養職員等を主な授業者として、血液検査等結果に基づく食を中心とした健康教育を実施。(養護教諭から血液検査の見方について事前指導あり)

イ 対 象 小学校5年生、中学校1年生

ウ 実施状況 (1月末現在)

小学校 23 校 (児童 964 人)

中学校 9 校 (生徒 938 人)

※今後実施予定 小学校 1 校

- エ 気 付 き
- ・朝食はいつも主食だけだったり、副菜を食べなかったりすることが多いので、これからはバランスよくお膳の形を思い出して食べたい。(児童)
 - ・朝食をしっかり食べるために、もう少し早く起きる。(児童)
 - ・グループワークをして、やっぱり日本人だからごはんのみそ汁がいいなと思った。朝食も考えて食べたい。(児童)
 - ・自分の朝食は、かなり偏っていることが多いので、次からはバランスのとれた食事をするようにしたい。(生徒)
 - ・今まであまり食生活について考えたことはなかったが、今日の話聞いて、これからは良くしていきたいと思った。(生徒)
 - ・朝はいつも自分で用意して食べるが、「早く食べられる」「時間がかからない」の2つしか考えていなかった。これから、バランスを考えて食べたい。(生徒)
 - ・グループワークでは、コンビニ弁当をイメージしたけど、バランスが悪いことがわかった。私の食生活は、主に副菜が抜けているので、これからは副菜をプラスしたい。(生徒)

(4) 親子食育教室

ア 内 容 親子で調理や運動についての体験学習を実施。主に市の管理栄養士、学校栄養職員、食生活改善推進委員、運動指導士による指導。

イ 対 象 小学校6年生及び保護者

ウ 実施状況 (1月末現在)

小学校 24 校 (児童 999 人、保護者 476 人)

- エ 気 づ き
- ・100kcalを消費するのは簡単だと思っていたけど、目標の半分くらいしか消費できなかった。(児童)
 - ・頑張って運動したけど、100kcalを消費できなかった。食べるのは簡単だけど消費するのは大変だ。(児童)
 - ・親子で調理や運動をして、楽しく過ごせた。作った料理が薄味で驚いた。いつもはもっと濃いのでこれから気をつけたい。(母)
 - ・100kcalを食べるのは簡単だけど、消費するのはとても大変だとわかった。子どもに食べさせる料理やおやつを今一度考えたい。(母)

(5) 交流給食会

- ア 内 容 年長児と小学生低学年が給食会食を通じて交流する。
- イ 対 象 指定校区内の保育所等の年長児と小学校低学年
- ウ 実施状況 小学校 3 校 ※随時実施予定
- エ 気 付 き
- ・就学予定児童の様子が確認できて、今後の参考になる。(教員)
 - ・保育所児童との関わりから、進級への意識づけができる。(教員)
 - ・学校給食を体験することで学校生活への不安が軽減されると思う。(保育士)
 - ・保育所での給食を時間内に食べ終わろうとする姿が見られるようになった。自分で考えて行動するようになり、成長を感じる。(保育士)

4 指導者食育学習会

- (1) 実施日 平成 23 年 1 月 24 日 (月)
- (2) 会 場 三条市役所栄庁舎 3 階大会議室
- (3) 内 容
- ア 講 演 講 師 新潟県教育庁保健体育課学校給食係
指導主事 上澤田 誠 様
演 題 「学習指導要領に即した食育の推進
～新学習指導要領全面实施を前に確認しておきたいこと～」
- イ 実践発表 講 師 三条市立三条小学校
養護教諭 佐藤 美恵子 様
演 題 「学校食育推進事業を実践して」
- (4) 参加者数 35 人

5 生産者交流会

学校給食週間（平成 23 年 1 月 24 日～1 月 28 日）を挟み、希望校で実施予定。

6 給食残量調査

- (1) 実施時期 平成 22 年 11 月の 2 日間
- (2) 対 象 市内の小学 3・4 年生、中学 1・2 年生

7 子ども生活実態調査

- (1) 実施時期 平成 22 年 12 月～平成 23 年 1 月に実施予定
- (2) 対 象 市内の小学 3・4・5 年生、中学 1・2 年生

8 その他

- (1) 食農教育 学校教育田による稲の栽培・収穫体験(23 校)、野菜等農作物の栽培・収穫体験
- (2) 有機栽培米の導入 (3 学期から)
- (3) 高校生の食育
- ア 実施時期 平成 22 年 6 月 17・21・23・25 日
- イ 人 数 3 年生 4 学級 144 人
- ウ 内 容 「食生活の自立について」(授業)

3 保健事業における食育推進

1 乳幼児健診における栄養指導 (平成 23 年 1 月末現在)

(1) 乳幼児健診・相談会の実施状況

項目	実施回数 (回)	指導方法	指導人数 延べ(人)	
3 か月児健診	10 回	集団指導	633	
10 か月児健康相談会	10 回	個別指導	634	
1 歳 6 か月児健診 及び歯科健診	10 回	集団指導	649	
		個別指導	生活習慣指導対象者※	24
			その他の希望者	108
2 歳児歯科健診	10 回	個別指導	生活習慣指導対象者	22
			その他の希望者	101
2 歳 6 か月児歯科健診	10 回	個別指導	生活習慣指導対象者	13
			その他の希望者	74
3 歳児健診及び歯科健診	10 回	集団指導	632	
		個別指導	生活習慣指導対象者	14
			その他の希望者	44

※ 生活リズムの乱れ、肥満、極端な偏食等、生活習慣病予防に着目した栄養指導の対象者

2 離乳食相談会 (平成 23 年 1 月末現在)

(1) 離乳食チャレンジ教室

- ア 対象者 : 5 か月児と保護者
- イ 実施回数 : 10 回 (月 1 回実施)
- ウ 内容 : 集団指導、調理実習
- エ 参加人数 : 延べ 219 人

(2) 離乳食ステップアップ教室

- ア 対象者 : 7 か月児と保護者
- イ 実施回数 : 10 回 (月 1 回実施)
- ウ 内容 : 集団指導、離乳食試食
- エ 参加人数 : 延べ 208 人

3 妊婦教室 (平成 23 年 1 月末現在)

(1) パパママ教室

- ア 対象者 : 妊娠 7 か月の妊婦とその夫
- イ 実施回数 : 5 回 (隔月実施)
- ウ 内容 : 集団指導
- エ 参加組数 : 延べ 76 組

4 成人における栄養指導 (平成 23 年 1 月末現在)

(1) 健診結果説明会・施設健診結果説明会

- ア 対象者 : 市の健診・施設健診
イ 実施回数 : 29 回
ウ 内容 : 個別指導
エ 参加人数 : 延べ 337 人

(2) 健康教室

ア 糖尿病予防教室

会場	総合福祉センター①	下田保健センター	総合福祉センター②
開催時期	9/30(木)、10/20(水)	10/21(木)、11/1(月)	11/26(金)、12/15(水)
参加人数	10 人	5 人	19 人
内容	集団指導(糖尿病予防のための食事について)、食事調査の実施		

イ 生活習慣病予防教室

会場	総合福祉センター①	下田保健センター	総合福祉センター②
開催時期	10/7 (木)	11/10 (水)	12/17 (金)
参加人数	14 人	5 人	15 人
内容	集団指導(バランスガイドを使った食事について)、食事調査の実施		

(3) 特定保健指導相談会 (中間評価において実施)

- ア 対象者 : 特定健診受診者のうち、積極的支援と判定された者
イ 実施回数 : 8 回
ウ 内容 : 集団指導
エ 参加人数 : 延べ 32 人

4 地産地消推進事業

1 しみん朝市支援

(1) しみん市仲間の会役員会

- ア 日 時 平成 22 年 9 月 24 日 (金)
- イ 出席者 出店者 8 人
- ウ 内 容 しみん朝市大感謝際及び役割分担等について

(2) しみん市仲間の会総会及び意見交換会

- ア 日 時 平成 22 年 4 月 7 日(水)
- イ 出席者 出店者 26 人
- ウ 内 容 21 年度事業報告・会計決算報告、22 年度事業計画・会計予算、規約改正、しみん朝市の再開について、意見交換会

(3) しみん市開催 5 月 16 日(日)～12 月 12 日(日)まで

※12 月 19 日(日)から三條機械スタジアム事務室前ロビーで規模を縮小して開催(3 月 27 日まで開催予定)

(4) その他

- ア クリーンデー・・・5 月 9 日(日) 1 塁側スタンド脇噴水広場・歩道側の草取り
- イ お盆市の開催・・・8 月 13 日 (金) 午前 6 時 30 分から
- ウ 初回お楽しみ抽選会・・・5 月 16 日(日) 来場者 469 人
- エ お楽しみ抽選会及び 1 塁側スタンド脇噴水広場・歩道の草取り・・・毎月末実施
- オ しみん朝市大感謝祭・・・11 月 7 日(日) 豚汁サービス実施、来場者 390 人

2 平成 22 年度学校給食地場産品利用状況

三条産品における給食食料自給率 90.4% (エネルギー換算による) (平成 22 年 12 月現在)

3 給食における三条産品利用促進打合せ会

(1) 開催日 毎月初旬

(2) 参集者 生産者、三条地域振興局農業振興部普及指導員、J A にいがた南蒲各地区担当者
青果物納入業者各地区担当者 (学校、保育所)、学校給食共同調理場場長、学校給食共同調理場栄養士、三条市農林課担当者、食育推進室担当者

(3) 内 容 学校給食や保育給食で使用する地元産野菜等の使用計画に基づく打合せ及び農産物の生育状況の確認、目合わせ (規格検討) の実施

(4) 使用品目 36 品目

大豆、きゅうり、キャベツ、たけのこ、アスパラガス、玉葱、じゃがいも、小松菜、とうもろこし、枝豆、ごぼう、大根、白菜、葱、かぶ、ほうれん草、なす、にんじん、もやし、きのこ、冬菜、さつまいも、さといも、ミディトマト、トマト、ブドウ (巨峰)、梨 (豊水、新高、新興)、ルレクチェ、キウイフルーツ、漬物 (たくあん、大根の甘酢漬、たい菜漬)、みそ、どじょう
【学校給食のみ：米、鶏卵、豚肉、梅干し】

4 広報活動

旬の食材の紹介をするコーナー「旬のたより」を広報さんじょうに掲載（8回実施）

5 食育普及啓発事業

1 しみん食育と農業のつどい →6 関係団体と連携した食育推進事業を参照

2 市民給食試食会

- (1) 実施日 平成22年11月2日(火)
- (2) 会場 三条市総合福祉センター
- (3) 献立 七分つき米ごはん(新米)、豚肉とさつまいもの揚げ煮、かぶの昆布あえ、秋野菜のみそ汁、梨(振興)、牛乳
- (4) 参加人数 111人

3 食育メール

毎月19日に配信 資料No.4参照

4 その他

ホームページの運営

6 関係団体と連携した食育推進事業

1 食生活改善推進委員協議会との連携

- (1) 通常総会および第一回研修会
 - ア 日時 平成22年5月17日(月)午前9時30分～午後3時45分
 - イ 場所 総合福祉センター 多目的ホール
 - ウ 内容 通常総会
研修会「食べ物と健康」 講師 自治体“農”ネット 堀井 修 様
 - エ 参加人数 98人

- (2) 第二回研修会
 - ア 日時 平成22年12月7日(火)午後1時30分～午後3時
 - イ 場所 総合福祉センター 多目的ホール
 - ウ 内容 研修会
運動実習「生活の中に運動を ～心と体のセルフメンテナンス～」パート2
講師 ガレージ1 田中 里佳 様
 - エ 参加人数 46人

(3) 「親子で食育」講座活動支援

ア 日 時 平成 22 年 10 月 12 日 (火) 午前 10 時～午後 12 時 30 分
イ 場 所 栄保健センター 1 階 健診室 学習室 2 階 調理室
ウ 内 容 講話、調理実習、会食
エ 参加人数 親子 17 組、食推会員 23 人

(4) その他 幹部会 10 回、理事会 5 回

2 三条まんま塾(食と農の連携協議会)との連携

(1) 田んぼの生き物調査

ア 日 時 平成 22 年 6 月 27 日 (日) 午前 9 時～午後 2 時
イ 場 所 栄地区善久寺地内圃場及び農村環境改善センター
ウ 内 容 田んぼの生き物調査、昼食会
講話「田んぼの生き物について」 講師:三条ホタルの会 小林良範 様
エ 参加者数 42 人

(2) 交流会～食べて語ろう、三条のうまい!～

ア 日 時 平成 22 年 8 月 22 日 (日) 午前 11 時 30 分～午後 3 時 30 分
イ 場 所 三条東公民館
ウ 内 容 昼食会 (夏御膳・三条産の果物を使ったデザート)、意見交換会
エ 参加者数 107 人

(3) 収穫体験バスツアー

ア 日 時 平成 22 年 10 月 23 日 (土) 午前 8 時 50 分～午後 3 時
イ 場 所 下田地区
ウ 内 容 さつまいも収穫体験、昼食会 (地産地消料理)
農産物直売所「しただうんめもんフェア」見学
縄文どじょう養殖池見学、さつまいもキュアリング施設 (保管庫) 見学
エ 参加者数 50 人

(4) しみん食育と農業のつどい

ア 日 時 平成 22 年 12 月 5 日（日）午後 1 時 10 分～午後 4 時

イ 場 所 三条市総合福祉センター多目的ホール

ウ 内 容 ○基調講演

演題「医は食に、食は農に、農は自然に学べ」

講師 朝日新聞社論説委員 大矢雅弘 様

○パネルディスカッション「農と食で地域を変えよう！私にできる第一歩」

パネリスト 三条市医師会 三条総合病院 上村旭 様

新潟県栄養士会三条支部 皆川邦子 様

生産農家 笹川琴音 様

三条ホテルの会 小林良範 様

三条市長 國定勇人

座 長 駒沢大学教授 姉齒暁 様

アドバイザー 朝日新聞社論説委員 大矢雅弘さん

三条まんま塾キャラクターコンテスト表彰式

エ 参加者数 500 人

(5) 旬の食材 PR リレー

月	品 目	主な内容
6 月	きゃべつ	広報により PR きゃべつ週間 平成 22 年 6 月 13 日（日）～19 日（土） きゃべつの日献立 平成 22 年 6 月 16 日（水）
7 月	枝豆	広報により PR
8 月	ぶどう	広報により PR
9 月	きゅうり	広報により PR
10 月	新高	広報により PR
11 月	米	広報により PR
12 月	ル レクチエ	広報により PR
1 月	さつまいも	広報により PR さつまいもの日 平成 23 年 1 月 28 日（金）

(6) その他

- イメージキャラクターの募集・決定
- 三条の旬カレンダー「さんじょう旬暦」の作成・販売
- 地産地消 PR プレートの作成
- 他団体事業への共催・後援等

- 幹事会 11 回
- 理事会 3 回